

## 令和5年度 サーベイアカデミー

# 3D地形点群モデル解析基礎技術（実習有）

主催：公益社団法人日本測量協会 九州支部

測量CPD 6ポイント

3D地形点群モデルは古くは空中写真測量技術により判読した標高点を元に縦横断地形などが作成されてきました。その後航空レーザによる標高計測が登場し、3D点群モデルはレーザ計測による作成が主流となりました。レーザ計測技術はその後自動車搭載型（MMS:Mobile Mapping System）が登場し、道路周辺の詳細な3D点群モデルが得られるようになり、さらにUAV搭載型、地上据え置き型、など様々な方法で取得できるようになりました。今後は手持ちタイプも加わってくるものと考えられます。一方、これらレーザ計測方法にはそれぞれ長所と短所があり、今後は目的に応じて組み合わせて利用するなどのニーズが高まると予想されます。

そこで、このような背景から本講習会では様々なレーザ計測技術について全体像を整理すると共に、航空機搭載型と地上設置型レーザ計測データを用いた3D点群モデル作成の方法について実習方式で講習します。

### 1. 日時

令和5年7月27日（木）9時30分～16時30分

### 2. 会場

リファレンス駅東ビル2階 I会議室  
福岡市博多区博多駅東1丁目16番14号 Tel 092-432-0058

### 3. 受講料

会員（正、特別、準）	15,000円
一般	22,000円
同時入会	22,000円

（受講料15,000円+正会員会費7,000円）

### 4. 受講定員

24名（定員になり次第、締め切ります）

### 5. プログラム

9:30-10:10 開会挨拶およびレーザ計測技術による3D地形モデル作成の全体像  
10:10-11:00 3D地形モデル作成の方法と留意点  
11:00-12:00 地上レーザ計測による3D地形モデル作成  
①地上レーザとUAVレーザの概要  
12:00-13:00 昼休み  
13:00-14:00 地上レーザ計測による3D地形モデル作成  
②データのフィルタリング  
14:00-15:00 ③点群データの作成  
15:00-15:10 休憩  
15:10-16:10 ④図面作成  
16:10-16:30 まとめと質疑応答  
16:30 閉会

6. 資料 当日配布します。

7. 準備品

- ・ノートパソコン OS : Windows10/11 (64bit)
- ・メモリ 4 GB以上
- ・ハードディスク 250MB以上の空き容量
- ・マウス
- ・USB端子 (USBメモリから、実習データを各自のPCにダウンロードし、体験版ソフトをインストールしていただきます。)
- ・筆記用具

■ 使用するソフト

「フィルタリングソフト LandForms (株式会社 アイ・エス・ピー)」

8. 講師 谷本純夫 日本測量協会専任講師  
今井靖晃 日本測量協会認定講師  
高藤亨仁 日本測量協会認定講師

9. 申込期限 令和5年7月13日 (木)

10. 申込方法 申込書に必要事項をご記入のうえ FAX 送信後、下記口座へ振り込み下さい。  
振込先：シャ) ニホンソクリヨウキョウカイキョウシユウシブ  
口座名：福岡銀行 博多駅東支店 普通口座 No.236991  
※ 申込み期限 (受講料等の入金締切日) 後は、支払われた受講料等は原則返金できませんのでご了承ください。  
但し、講習会が中止等で開催されない場合は、返金いたします。  
※ 申し込み期限において申込人数が 10 名未満の場合は中止する場合があります。

11. 申込先 公益社団法人 日本測量協会九州支部  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-10-32 博多イーストステーションスクエア  
Tel 092-411-5600 Fax 092-411-5612 Email : [kyusyu@jsurvey.jp](mailto:kyusyu@jsurvey.jp)

